

2013 ぼくの夢 わたしの夢

新しい年を迎えて、
高山小学校6年生の
皆さんに「将来の夢」を
語っていただきます

おいしい野菜を作る



後藤 未来

私の夢は、農家になり、みんなにおいしいと言われる野菜を作ることです。ほかにも品種改良に成功して、今までにない野菜を作ったりしたいです。理由は、私

が作った野菜をみんなに食べてもらって、良い評価をもらおうと私はうれしく思うし、みんなの喜んでいる顔が好きだからです。あと、農業を営んでいる父母に、あこがれたからです。

農家は、うまくいかないことの方が多くて大変ですが、野菜の成長とともに、自分の心もだんだん成長していきなると思っています。この夢が、かなえられるまでは、この夢をあきらめないで、種から大きくなるようにがんばっていきなりたいです。

有限会社OHKの社長



大木 矢真斗

ぼくの将来の夢は、今ぼくのお父さんが有限会社OHKの社長なので、そのあと継ぎをして社長になることです。お父さんの会社は、おもに

工事をしています。ぼくが、あとを継いで社長になろうと思った理由は、お父さんの仕事を手伝ったときに「人の役に立つことはいいな。」と思ったからです。ぼくには、兄がいるけど会社を継がないと言っているので、あと継ぎをする人がいないと思います、将来、会社の社長になりたいと思います。ぼくは兄に「働く会社だけでなく社長はゆずらない。」と言いました。

これからお父さんの仕事を手伝って、ぼくの将来の夢に向かってがんばりたいです。

昔の世界を見てみたい!!



小林 知夏

私の将来の夢は、考古学者になることです。私は、歴史の授業が大好きです。だから、まだ分かっていないことや、まだ分かっていないかもしれない歴史

を、しっかりと調べて、これから歴史を学んでいく人々に正しい歴史を教えたいです。

また、私が考古学者になりたい理由がもう一つあります。それは、他の国々の歴史も知りたいからです。他の国にも、エジプト文明の歴史や、アジアの文明の歴史があるので、詳しく調べてみたいのです。私は、世界の人々にさまざまな歴史を知ってもらえる立派な考古学者になれるよう、がんばりたいです。

世界に役立つことがしたい



飯塚 康稀

ぼくの将来の夢は、世界に役立つ仕事がしたいです。例えば今、戦争している国があります。そこに住んでいる人たちは戦争のせいで、けがや食べ物不足で死者が

増えていきます。そんな人たちに少しでも役立つように、けがを治す薬や食べ物を支援したいです。そしてその国に行ってどんなに苦しいかを味わって、この国に住んでいる人たちはこんなに苦しい生活をしているのだと、世界にうったえたいです。また、きたない水しか飲めない国では、協力しておいしい水がわき出る井戸を作りたいです。ぼくは、そんな大人になりたいです。





もっと勉強して
教師になりたい

堀 鈴花

私にとつて、学校とは、たくさんの方と一緒にいられて、いろいろな楽しい行事がある場所です。

私が教師という職業をやりたい理由は、二つあります。一つめは、教師は、責任ややみが多い職業だと言われているけど、私は、その分返ってくる喜びも大きいと思ったからです。二つめは、テストの点数がいつき上がったときの喜びを知ってほしいと思っただけです。私は、テストの点がいつきに上がったことがあり、そのときすごくうれしかったからです。



農家をしながら
星の観察をしたい

竹淵 紅音

私の将来の夢は、農家をしながら星の観察をすることです。私の家は、農家をやっています。祖父が米を育てています。毎年、近所の人や祖父の友達の人から田植えや稲刈りなどをたのまれています。とても大変です。そんな祖父をみながら米を育ててみたいと思います。

ほかには、夜になるときれいな星が見えるので星の観察をしたいです。私は、理科の授業が好きです。特に好きなのが星や星座の授業です。自分の家にポケット図かんを持っていて、そこから、その図かんで見ると星座がよく見られる時に望遠鏡で星座や星を観察したいです。



一つの夢

外丸 大翔

ぼくには、小さいころに決めていた一つの夢がある。プロ野球選手になって巨人に入団することです。

そのためにまず、いっぱい勉強して高崎工業高校にいきたいです。でも今は、エラーをしたりしているので家で素振りがんばっています。

お母さんたちは、毎日こう言う。「練習は、ウソをつかないよ。」と、だから大会とかでかつやくできるように、ぼくは練習を精一杯がんばっています。そして、

ぜったいにプロ野球選手になって巨人に入りホームランやファイブプレーなどをし、かつやくしたいです。



安全な家を
つくる

小淵 智哉

ぼくの夢は、大工になることです。理由は、新しい家をつくってくれた人が、かつやくよかったからです。それに、じょうぶな家をつくって、住む人が安全に住めるような家をつくりたいからです。

そのためにぼくは、家をつくってくれた人のところに、でし入りして、その人にもとめられるように、くぎ打ちなどの技術を身につけたいです。

すこい大工になったら、お父さんやお母さんに、家をつくってあげて、二人のよさぶ笑顔が見たいです。



看護師になって

山崎 美結

私の将来の夢は、看護師になることです。看護師になって、病気で治りようが必要な人が痛がらない治りようをしてあげたいです。

私は、注射などが嫌いで、嫌々受けています。世の中にも嫌いな人がたくさんいると思います。嫌いで受けない人もいます。

だから、みんながすすんで受けにきてくれる、そんな看護師を目指しています。

その為に、治りよう法を主とした勉強をこれから少しずつしていきたいと思っています。



笑顔になる
かみ型

山野井 美桜

私の夢は、みんなが、私が切ったかみ型で、笑顔になってくれる美容師になりたいです。私がいつも通っている美容室の人は、ハサミでチヨキチヨキと切ってかわいいかみ型にしてくれます。そうすると、自然と笑顔になります。私は、将来、日本中のみんなを笑顔にしたいです。

美容師になるなら、良い場所で技術を身につけたいです。それには、日本一の専門学校に行きやすい高校に入りたいです。そして、美容師の専門学校に入り、技術を磨きたいです。

仕事に余裕ができたら、親のかみの毛を切って笑顔にしたいです。

